



西郷港玄関口まちづくり

みちがえるまちづくり都市再生整備計画

ターミナルエリア

についての

第5回

意見交換会

夜

の部

7/9 (金) 19:00 ~

昼

の部

7/10 (土) 10:00 ~

会場：隠岐ポートプラザ 2階ホール

西郷港ターミナルエリア 第5回意見交換会 プログラム

- 19:00～19:05 はじめの挨拶
- 19:05～19:20 1. これまでの振り返り
- 19:20～19:30 2. これまでに出了された意見について
- 19:30～20:00 3. 追加すべき事項についての意見交換
主に暮らしや景観について
- 20:00～20:20 4. ターミナルエリア整備の検討範囲について
- 20:20～20:30 本日のまとめ

これまでの意見交換会の概要

回数	開催時期	内 容
第1回	令和2年 11月	・ターミナルエリアの整備方針の共有 ・整備にあたっての心配ごとや留意事項について
第2回	令和2年 12月	・計画づくりの進め方や成果目標のイメージについて デザインコンペを実施して、空間デザインを決定 (津和野町の事例を紹介) ・交通機能の配置について
第3回	令和3年 3月	・交通機能の現状データについて共有 ・人と車の流れを演出する空間づくりについて (橋本先生からの情報提供) ・デザインコンペの仕様書作成に向けて
第4回	令和3年 5月	・デザインコンペの仕様書に盛り込む内容について (特に交流機能や商業機能について)
第5回	令和3年 7月	・デザインコンペの仕様書に盛り込む内容について (特に暮らしと景観について) ・ターミナルエリア整備の検討範囲について

都市計画に関する大切なふたつの事業を同時に進めています

特集①

西郷都市計画区域

建設課 都市計画推進室



「立地適正化計画」づくりを進めています

「立地適正化計画」とは

「立地適正化計画」は、都市施設や住宅の集積に関する誘導方針を定めることで、商業や居住の機能を維持した持続可能なまちを形成するための計画です。

「立地適正化計画」は、全国の都市で策定が進められていますが、離島では隠岐の島町がはじめてとなります。

西郷都市計画区域で「立地適正化計画」を進める必要性

西郷都市計画区域内の土地利用をみると、西郷港玄関口地域にはフエリターミナルや宿泊施設、住宅が立地し、平や栄町、下西や城北町には役場、病院、大規模小売店が立地しています。人口が減少するなか、都市機能を維持することが極めて

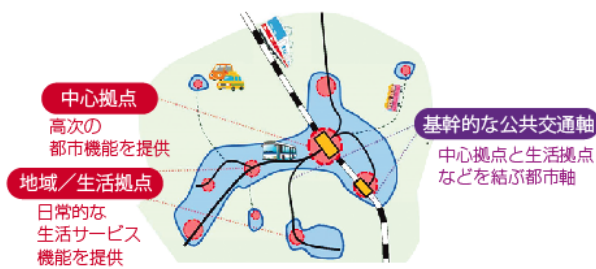
重要な課題となっています。

隠岐の島町では、30年後にもまちの都市機能や居住機能を維持していくために、将来にわたり持続的な都市づくりが必要であるとの考え方から、「立地適正化計画」の策定を進めています。

持続可能な都市構造を決める

西郷都市計画区域には町全体の約6割の人が住み、多くの人が役場や病院、買い物や外食に訪れています。この活力を持続可能なものとするために都市機能を強化していきます。

本計画では、都市計画区域内の機能強化と公共交通ネットワークの充実のための都市構造を決めます。このことによって町全体へと活力の波及が期待できます。



都市計画区域内の都市構造イメージ（国土交通省HPより）



検討委員会の様子



「都市再生整備計画」づくりを進めています

ターミナルエリア

「都市再生整備計画」とは

「都市再生整備計画」は、平成30年8月から令和2年6月にかけて策定した「西郷港玄関口まちづくり計画」にもつぎ、ターミナルエリアの具体的な整備内容を計画するものです。

西郷港玄関口まちづくり計画では、まちづくりの理念や方針を次のように定めました。

「立地適正化計画」との関係

「都市再生整備計画」づくりでは、都市計画区域全体の将来のまちの理念や方針を定める「立地適正化計画」の考え方を受け、ターミナルエリアの位置づけや整備内容を計画します。

「立地適正化計画」によって、この「都市再生整備計画」を実施することに対して国からの支援を受けられることになります。

ターミナルエリアのデザインを決める

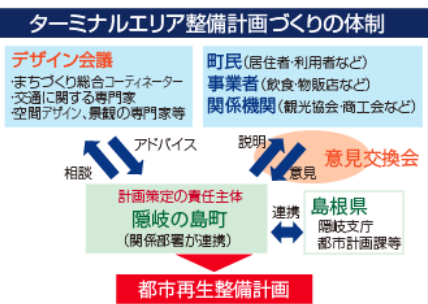
ターミナルエリアの空間デザインについては、全国から具体的なアイデアを募集する「デザインコンペ」の実施を予定しています。

デザイン案の決定は町が主体となっており、決定までの過程では、地域にお住まいの方々や商売を取り行い、誰でも参加できる意見交換会および専門家からなるデザ

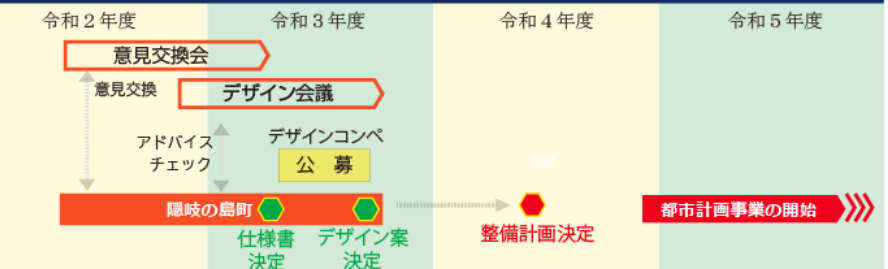


ターミナルエリア意見交換会の様子

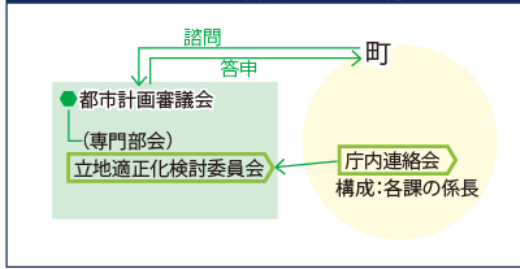
イン会議を開催するほか、国や県などの関係機関との協議を行って、隠岐の島町の顔となる魅力ある玄関口の整備を進めます。



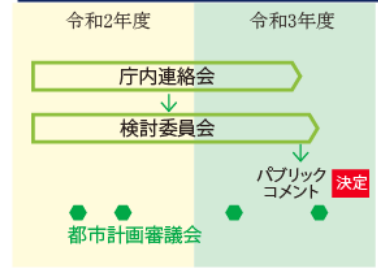
ターミナルエリア整備のスケジュール



立地適正化計画づくりの体制



スケジュール



現状の課題の整理

- まち側の玄関口としての整備
- 利用しやすい交通結節点の整備
- 来訪者と町民の交流の空間の創出
- 飲食・物販機能の充実



ターミナル前の道路で分断されている港側とまち側をどうつなぐか、バス、タクシー、一般車など利用しやすい交通の結節点のあり方はどうあるべきか。子育て世代や学生、高齢者の方が海の見える良好な環境の玄関口でふれあえる空間とはどのような場とすべきかなど、課題を整理しました。

意見交換会での主な意見

【防災】

- ・まちづくりには防災の視点を含めて考える必要がある。これは住民だけでなく観光の立場としても重要
- ・観光客もターゲットにした防災マップなどの設置が必要

【交通】

- ・バスで移動しようとするとなりにくい。ターミナルエリアを結節点としたバス路線の変更が必要
- ・駐車場は玄関口を訪れる方の目的にあわせて駐車スペースなどを検討していく
- ・歩きたくなるまちづくりとして豊かな空間としていく

【景観】

- ・せっかく海が見える場所であるので自然を感じることができる場としたい
- ・港の景観に配慮しながらターミナルエリアの規模を検討してほしい

【観光】

- ・観光客は隠岐らしさを求めている。ゆったりとした時間の過ごし方など。
- ・ターミナルエリアは観光客にとって商業との関係だけでなく、町民とのふれあいの場ともなりえる
- ・ターミナルエリアを訪れるターゲットは観光客とするのか、町民と観光客は別で考えるべきではないか
- ・ジオパーク拠点施設の利用者との動線を考えたエリア整備としてほしい

【商業】

- ・飲食店は現在の店と新規の店で消費が選べる楽しさのある空間としたい
- ・現在の老舗の継承もあり、店舗数が減らないよう新規参入の出来る商業の場として考えるしてほしい

【交流その他】

- ・ポートプラザ1・2階の活用は、物販や交流の機能を工夫しながら検討する
- ・既存の施設を活かした海の駅など、食を楽しめる場をつくるべき
- ・今後具体的な検討に入ると思うが、住民の意見をしっかり聞いて進めてほしい

12/26 第2回意見交換会のご案内

(土)

【時間】19:00～20:30 【場所】ビューポートホテル2階ホール

第1回ターミナルエリア整備のための意見交換会を行いました

～みちがえるまちづくり 都市再生整備計画づくり～

第1回のターミナルエリア整備のための意見交換会は、令和2年11月6日（金）に夜の部19時00分からと、翌日11月7日（土）に昼の部13時00分からに分けてビューポートホテル2階ホールで行いました。中町の町民の方をはじめ関係機関や団体の方々計53名が参加しターミナルエリア整備についての様々な意見が出されました。



人と交通の流れを演出する空間機能のデザインの検討

みちがえるまちづくりの目標

- 人と車の流れを変える（みちがえる）ことにより西郷港エリアのにぎわいを取りもどす

4つのまちとターミナルエリアをつなぐ

- 人が歩いて楽しめる流れをつくりだす

隠岐の島町全体とターミナルエリアとの関係

- 隠岐の島町の内外をつなぐ円滑な交通の流れをつくりだす

ターミナルエリアは隠岐の島町全体にとっての心肺です。

心肺から全島に活力を送り出すためにはターミナルエリアを核とする西郷港玄関口が元気でなければなりません。西郷港玄関口の元気を取りもどすと共に、隠岐の島町全体に人・もの・情報を循環させるターミナルエリアの機能はどのように考えればよいのか今後もみなさんと話し合っていきたいと思っています。

【お問い合わせ先】 隠岐の島町建設課都市計画推進室

電話 08512-2-8580 （担当：宇野、室山）



みちがえるまちづくり

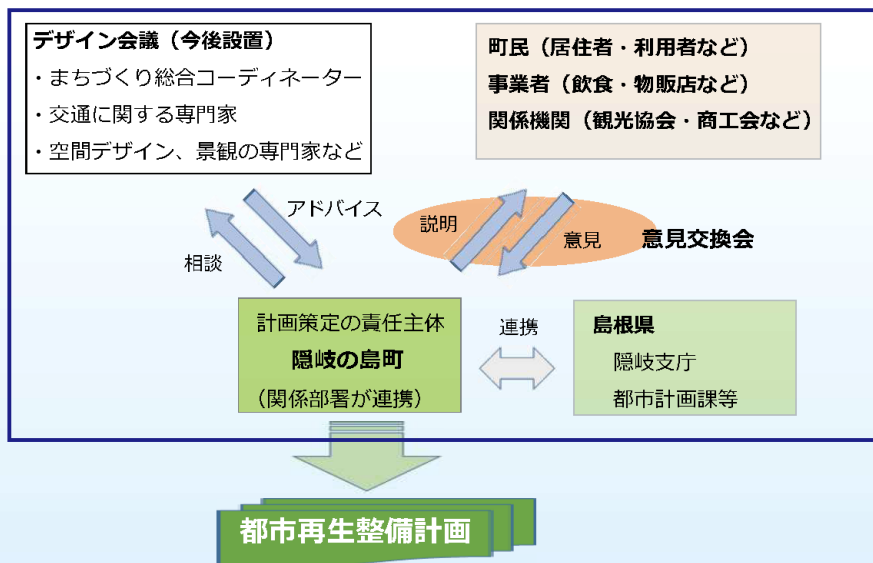
News
1号

2020年11月発行

都市再生整備計画づくりの進め方

ターミナルエリア整備を核とした「都市再生整備計画」は下の表の体制で進めていきます。

意見交換会でいただいた意見を、デザイン会議のアドバイスを受けながら、関係機関・役場の関係部署と連携し、最終的に「町」が責任をもって作成します。



交通機能の配置の検討



- 一般車両の送迎用乗降場
- 飲食店などの利用者駐車場
- 観光バス
- 路線バス
- タクシーの乗降場

【交通についての主な意見】

- ・路線バスの乗降率は5～6人なのに、なぜ大きいバスでないといけないのか
- ・バス路線が現在の運行ダイヤに変更されてから西郷港玄関口に人の流れがなくなった
- ・観光バスの乗降場ではジオゲートウェイ前にシールが集まりました

第3回意見交換会の予定

【場所】ビューポートホテル2階ホール

2/19
(金)

夜の部

【時間】19:00～20:30

2/20
(土)

昼の部

【時間】10:00～12:00

第2回ターミナルエリア整備の意見交換会を行いました

～みちがえるまちづくり 都市再生整備計画づくり～

第2回のターミナルエリア整備 都市再生整備計画づくりの意見交換会は、令和2年12月26日（土）19時00分からビューポートホテル2階ホールで行いました。年末の忙しい中、44名が参加し、前回のふり返りから行いました。

今回は、玄関口まちづくり計画からターミナルエリア整備を核とした「みちがえるまちづくり」として都市再生整備計画づくりの段階に入ったことを説明しました。

参加者からは、町の目指すイメージやターゲットについての質問や、これから進めるまちづくりに防災や景観の考えを考慮するべきとの意見が出されました。今回は、町の考えるターミナルエリアの将来像について、目指すべきゴールと、どのように進めて行くかについて説明しました。



後半では、交通機能の配置について、飲食店などの利用者やバスの乗降場などの配置について参加者自ら地図にをシールで張り出して、交通機能の再編について話し合いました。

ターミナルエリア整備の目指すべきゴール

町が目指すべきゴールはターミナルエリアのデザインを決定することです。

ターミナルエリアのデザインコンペ仕様書の決定

- ・ターミナルエリアのデザイン仕様書を住民の皆さまと話し合いながら作成します。
- ・デザイン会議のアドバイスと関係機関、役場内の意見調整を行い仕様書を決定します。

デザインコンペの実施 (ターミナルエリアのデザインを募集)

- ・仕様書を元にデザイン案を募集します。

ターミナルエリアのデザインの決定

- ・デザインの決定には専門家のアドバイスや住民意見も取り入れながら決定します。

【お問い合わせ先】 隠岐の島町 都市計画推進室

電話 08512-2-8580 （担当：宇野、室山）

詳しくは隠岐の島町 HP をご覧ください



西郷港ターミナルエリア
みちがえるまちづくり

News
2号

2021年1月発行

ターミナルエリアデザインの仕様書づくり

主要な項目	仕様書に定める整備の内容や留意点
景 観	どういう景観をつくるか？
交 通	人と車の演出をどうするか？
交 流	どういう交流の場をどこにつくるのか？
商 業	飲食や物販店をどのように配置すべきか？
暮らし	ターミナルエリアや周辺に暮らすためにはどうするか？

西郷玄関口まちづくり計画のターミナルエリア整備方針にある

【交通機能】、【交流機能】、【商業機能】に【暮らし】の視点を盛り込む意見がありました。

仕様書の**主要項目**と**内容**については、次回意見交換会で話合います。

意見交換会での主な意見交換

【まちづくり】

- ・今後はコロナによる影響を考慮して交流人口を計画して進めて行く必要がある。
- ・今進めているまちづくりの情報や活動を行える場をつくってもらいたい（まちづくりセンター等）
- ・子供からお年寄りまで多世代が多目的に使える場が、人のにぎわいを生むことになる。
- ・子ども食堂ができないか考えている。またお年寄りが気軽に立ち寄れる喫茶をつくりたい。
- ・ネットカフェを考えているが、実現に向けた話合いができる場がほしい。

【交通】

- ・前回のバス路線変更によりまちに来る人が減少した。路線変更の結果の検証をすべき
- ・バスの大きさは今後どうするか？→今後は現行のピンクのバス（33人乗り）と同等のバスに変えていく予定
- ・ターミナルエリア整備に合わせ、ニーズを把握し路線の検討を行う。

【ポートプラザ】

- ・すでに施設としてあるので、どのように活用するかターミナルデザインの仕様書作成までに決定すべき

玄関口まちづくり事業第1弾＜大城山プロジェクト＞

3月20日（土）西郷小学校と西郷中学校の卒業生、地域の皆さまと西郷公園に「隠岐のヤマザクラ」を記念植樹しました。来年はきれいな桜色の花が咲く事でしょう。
大城山を活用する事業は今後も進めて行きます。



第3回ターミナルエリア整備の意見交換会を行いました

～ターミナルエリアデザインの仕様書づくりが始まりました～

第3回のターミナルエリア整備 都市再生整備計画づくりの意見交換会は、令和3年3月21日（土）に13時からの昼の部、18時からの夜の部と2回ポートプラザ2階ホールで行いました。コロナ緊急事態宣言中でしたので、桑子先生にはインターネット経由で画面からアドバイザーとして参加していただきました。

最初に前回のふり返りとして、町が目指す直近のゴールはターミナルエリアのデザインを決定することを確認し、続いて町の交通、駐車場、ポートプラザ活用の担当課より現状や考え方を説明しました。ターミナルエリアデザインの仕様書づくりを行うにあたり、デザイン会議の交通の専門家である橋本岡山大学教授による「人と車の流れを演出する空間づくり」について講演していただきました。



橋本先生からは、交通機能には「乗換機能」、「拠点形成機能」、「ランドマークの機能」の3つの役割がある事の説明がありました。また、フェリー利用者1日平均800人が利用する玄関口は町の中で最大級の人が集まる拠点場所であること、来訪者にとっては第一印象を決める重要な場所であることの説明がありました。人が集まる拠点づくりでは、人の流れでにぎわいの演出が図られていて、駐車場やロータリーといった車のスペースは拠点以外に設ける方法があることの説明でした。後半では、仕様書の主要項目について説明し、次回で項目の決定と内容について意見交換することとしました。

公共交通について（地域振興課）

路線バスダイヤの変更を検討

- ・令和3年度に新庁舎に対応したダイヤの検討を行い、令和4年度から変更の予定です
- ・ターミナルエリア整備にあわせて、玄関口を交通拠点の一つと考えて交通網を検討します

町営駐車場について（施設管理課）

町営駐車場の1日平均での利用率は低い

- ・4つの町営駐車場は226台駐車で月極は立体駐車場に107台あります
- ・お盆のフェリー到着時に1時期満車状態となるが、1日平均の駐車台数は24.2台です

ポートプラザ1・2階活用について（商工観光課）

ターミナルエリアデザインの仕様書作成までに方針を決定

- ・中町地区からの要望やワークショップ、まちづくり協議の意見などをふまえて活用の方針を決定します

【お問い合わせ先】 隠岐の島町 都市計画推進室

電話 08512-2-8580 （担当：宇野、室山）

詳しくは隠岐の島町 HP をご覧ください



西郷港ターミナルエリア
まちがえるまちづくり

News
3号

2021年3月発行

【考えられる交流機能】

交流拠点
イベントスペース
カフェ・商業施設
乗り換え待ちスペースなど



【いろいろな世代が様々な目的で集まる空間】

「ここに来ればだれかに会える場所」
「ここに来れば何かが起こる場所」

＜他のまちの事例では…＞



出典：居場所ハウス

人との会話が生まれる
自宅や職場以外で誰かに会える
第三の場所。

生きがいの生まれる場



出典：ジョブモデル

子供たちが集う場所
読書や勉強や話合いが
できる、にぎやかな場



周南市駅前図書館

③ランドマークとしての機能

ランドマーク
としての機能

景観機能

まちの顔としての景観をつくる

シンボルとなる施設や緑などでまちの
表情をつくる必要があります

サービス機能

公共のサービスや各種情報の提供

トイレ、案内板、情報機能など

【ポイント】

ターミナル前の人通りをどう演出するか

人が歩く空間をどうするべきか

人が集まる仕組みをどうするか

駐車場が散財すると歩く人がいなくなる



現在の隠岐の島町の通り



人の通りを演出した姫路駅前

第4回意見交換会の予定

【場所】ビューポートホテル2階ホール

4/23
(金)

夜の部

【時間】19:00～20:30

4/24
(土)

昼の部

【時間】10:00～11:30

人と車の流れを演出する空間づくり

～ターミナルエリア周辺をデザインするために～

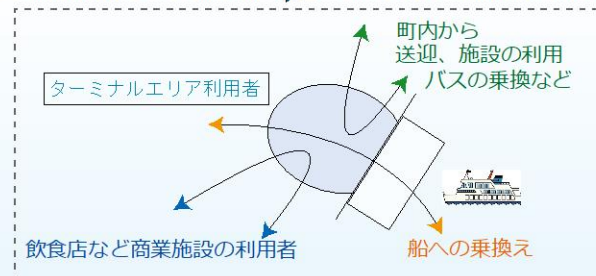
岡山大学 教授 橋本成仁

ターミナルに求められる交通機能

交通結節機能として3つの機能が求められています

①乗り換え機能

交通結節点としての機能 → それぞれの交通機能を結節する場です

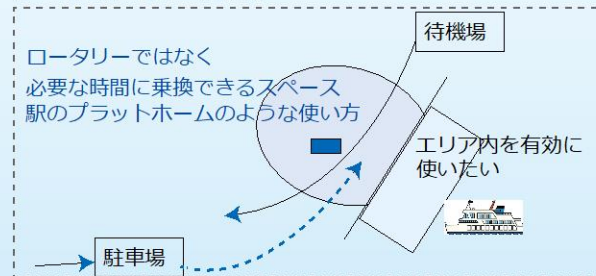


【結節のイメージ】

船の利用者はターミナルで乗換えて別の交通でエリア外に移動します。

フェリー利用者を送迎する人もいるし、エリア内の施設を利用する場合の交通もあります。エリアの飲食店などへの利用の為に移動する交通もあります。

ターミナルエリアへの移動



駐車場やロータリーなどは大きなスペースを必要とします。ターミナルエリアを魅力的な空間とするためには、駐車場やバスやタクシーなどの待機場をエリア外に設置する方法があります。

②拠点形成機能

西郷港は年間27万人が利用し、1日平均800人が乗り降りする町内でも最大級の人が集まる拠点です

拠点形成機能

市街地拠点機能

玄関口の拠点を形成する

フェリー・ターミナルなどターミナルエリアの拠点となるものです

交流機能

憩い・集い・語らいの中心となる

人が集まるスペースやプラザなどターミナルエリアの特性に応じた場を検討します



西郷港ターミナルエリア みちがえるまちづくり

News 4号
2021年6月発行

西郷港玄関口まちづくり 都市再生整備計画

ターミナルエリアについての 第4回 意見交換会 を開催しました！



町では、ターミナルエリアのデザインコンペに向けた公募のための「仕様書」づくりにあたり、**地域のみなさんの意見を反映するため、意見交換会を開催しています。**

第4回意見交換会では、5月21日（金）11人、22日（土）22人が参加されました。前回、もう少し幅広く呼びかけをしたほうがよいと意見がありましたので、情報発信アプリも活用して参加を呼びかけ、はじめて参加される方も多くありました。

今回は、コロナのまん延で1か月開催が延びたため、第1回～第3回までの振り返りを確認しました。次にこの意見交換会は、デザインコンペの「仕様書（盛り込むべき空間機能、提案にあたっての留意事項）」は、町民のみなさまと一緒に作っていくことを確認しました。

今回のテーマは「交流」と「商業」でした。平成30年度から行ってきたまちづくりの談義やこれまでの意見交換会などで寄せられた意見を手がかりに、さらに追加すべき点や留意したい点などの意見を頂きました。

【意見交換会のプログラム】

1. 振り返り
2. これまでに提出された意見について
3. デザインコンペの仕様書に追加すべき事項について意見交換



ターミナルエリア整備の 仕様書に盛り込むテーマ

ターミナルエリアに整備の仕様書に盛り込むテーマについて、右の5つの項目を提示し、意見交換を行いました。
覚えやすくするため、5つ程度の項目を絞る方がよいとの意見に多くの方が賛成されました。

テーマ	内容
1. 交通	人と車の流れをどうつくるか？
2. 交流	どのような交流の場をどこにつくるか？
3. 商業	どのような飲食や物販施設をどこにつくるか？
4. 暮らし	周辺での暮らしを維持していくために何が必要か？
5. 景観	どのような景観をつくるか？

交流機能などに対するアイデア・ご意見 ここで何をする？ 何がしたい？

話し合いでは「交流」の場として、集える場や賑わいづくりに対して、多くのアイデアが出されました。また、交流についてはどのように使っていくか、運用の仕方を同時に考えていくことが大事という意見も頂きました。

西郷港周辺は人とモノが行きかう出入口で隠岐の島町の心肺機能であり、ターミナルエリアの整備は玄関口を訪れる地域住民にとって大事な場所であり、学生やビジネス・観光で来られた方にとっても、留まる空間であることが必要との認識を共有しました。

交流機能について(主な意見)

交流の場（町民、来訪者が集う場）

- ・子ども、ママ、ビジネスマンなど多様で、他世代の人が集まる複合的な空間
- ・地域の情報が得られる、道の駅のような施設
- ・子どもたちがにぎやかに集まる空間（図書館機能など）
- ・仲間と語り合えるサロンやラウンジ（第3の居場所）
- ・民謡の発表会場、親子の遊び場、カフェなど
- ・既存施設の有効利用
- ・朝市、土曜夜市 など

ゆっくり過ごせる空間

- ・くつろげる空間、滞留できる場所
- ・公園のような空間、落ちるけるような場所

隠岐の文化・歴史が感じられる場

- ・隠岐らしい港のある雰囲気
- ・歴史や文化について学び情報発信できる場



商業機能について(主な意見)

持続可能な規模で、地元商店と連携

- ・商業重視か福祉重視かで、考え方で作り方が変わる
- ・商業振興のためには、住民が地域商店を大切にすることが大事
- ・持続可能な商売ができるように適正な規模にする



その他(主な意見)

- ・住民のためのまちづくりを優先する
- ・歩くところがないので快適に歩ける仕掛けが必要
- ・くつろぐには全体が森に近い公園になるとよい
- ・まちが暗い印象があるので、夜、光があるとよい
- ・仕事があれば隠岐で働きたいと思っている高校生もいるので雇用の場にもなるとよい
- ・コンペの参加者には、地域をよく見て知った上で空間デザインを提案してほしい

デザイン仕様書の内容

「交通」「交流」「商業」については、これまで意見交換を踏まえ、次のように提案事項を整理したいと考えています。

【交通】

- ・ロータリー空間を設けず、公共交通や各種送迎などが利用しやすい乗り換え機能
- ・まちの方に歩きたくなり、賑わいが生まれるようなみちのあり方
- ・町民や来訪者が安全に避難できる仕組み

【交流】

- ・子ども達や子育て世代から高齢者まで、多様で多世代の人々が集い、滞留し、交流できる空間
- ・町民も来訪者も、くつろぎ、語り合える空間の提案
- ・隠岐の島町の歴史や文化にふれあえる場
- ・うみとまちをつなぎ、賑わいが生まれるように各機能をつなぐ交流空間

【商業】

- ・人とのつながりやふれあいを感じられる商業空間
- ・誰もが利用しやすく、賑わう飲食機能

次回 第5回意見交換会の予定

テーマ：「景観」「暮らし」について

【場所】ビュートホテル2階ホール

7/9
(金)

夜の部
【時間】19:00～20:30

7/10
(土)

昼の部
【時間】10:00～11:30



「隠岐の島を元気にする一歩」で
意見交換会の開催案内を発信しています。
QRコードでスマホアプリをダウンロードしてください



【お問い合わせ】
隠岐の島町 都市計画推進室 電話 08512-2-8580
(担当：石田、前田、宇野、山根)

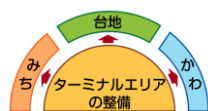
■西郷港玄関口まちづくり計画

【基本理念】

海とまちをつなぎ 世代をつなぐまちづくり
～にぎわい と 安心・安全 の実現～

【方針】

「ターミナルエリアの整備」を核として
「みち」「かわ」「台地」がつながることで、
西郷港玄関口地域の活性化を実現。



■ターミナルエリアの整備の方向性

【基本的な考え方】

～みちがえるまちづくり～
⇒人と車の流れを演出する空間づくり

ターミナルエリア整備の仕様書 に盛り込むテーマ

項目	整備の内容や留意点
交通	人と車の流れをどうつくるか？
交流	どのような交流の場をどこにつくるか？
商業	どのような飲食や物販施設をどこにつくるか？
暮らし	周辺での暮らしを維持するためには何が必要か？
景観	どのような景観をつくるか？

交通：玄関口を交通結節点とした交通機能

- ロータリー空間を設けなくて、町民や来訪者にとって公共交通や各種送迎などが利用しやすい乗り換え機能の確保
- 町民や来訪者がわかりやすく移動でき、安全に避難できる仕掛けづくり
- フェリーターミナルの前面道路は、まちエリアに歩きたくなり、賑わいが生まれるような歩行空間を演出
- 既設駐車場を活用し、エリア内には駐車場を設けなくて、人の歩行を優先した賑わいのある空間を創出

交流：人々が滞留できる交流空間

- 子ども達や子育て世代から高齢者まで、多様で多世代の人々が集い、語らうことができる交流空間の創出
- 学生たちが集まり、くつろぎ、にぎやかにふれあえる空間づくり
- 来訪者も、くつろぎ、留まることができる空間づくり
- 隠岐の島町の文化や歴史に触れることができる空間づくり
- 周辺の既存施設とエリア内の各機能をつなげ、賑わいを創出できるように演出

商業：人とのふれあいを感じる商業空間

- 利用しやすく、人とのつながりやふれあいを感じることができる商業空間の創出
- 交流機能とつながりをもつにぎやかな空間の演出
- 持続可能な商業機能の確保
- 色とにおいを感じることができる空間の演出

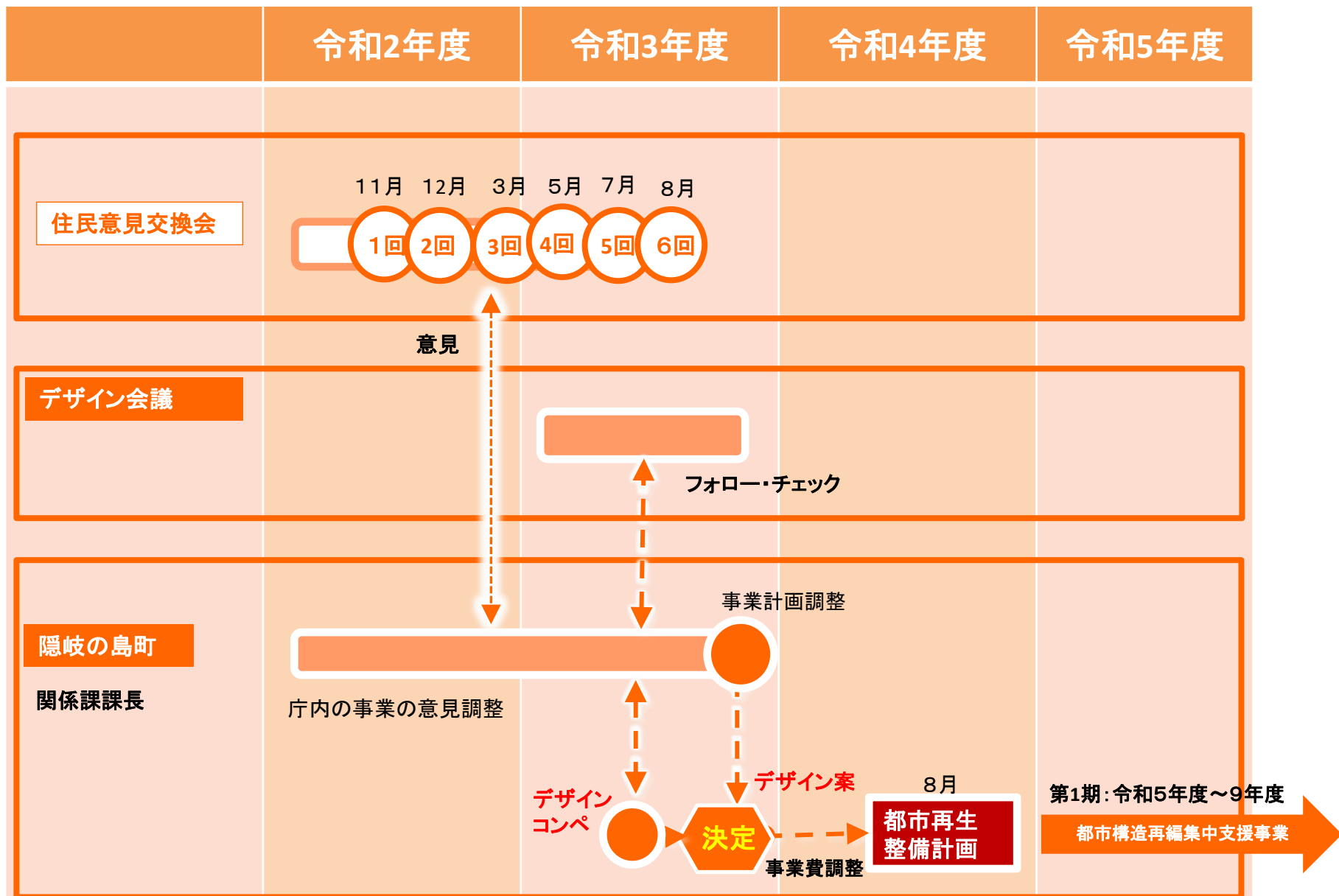
ターミナルエリア整備に関するこれまでの意見等

項目	整備の内容や留意点
暮らし	• まちの人口や世帯が減らないように • 若い世代の方など新たな居住が増えるように • 周辺で暮らしている人が暮らしやすくなるように • 役場の出先機関、郵便局、金融機関など
景観	• 隠岐の島町玄関口の顔をつくる • 海が見える立地を生かす • 古きよき港の風情、北前船の寄港地であったことを生かす • 隠岐らしい港のある雰囲気をつくる • 境港より賑わっていた都会だったことを活かす • くつろげるように全体が森に近い公園のような空間 • 統一したデザインのサインや街路灯の整備 • 電柱などの撤去など

ターミナルエリア整備の検討範囲について



西郷港玄関口地域 都市再生整備計画の進め方



意見交換会のスケジュール(予定)

回数	開催時期	内 容
第1回	令和2年 11月	・ターミナルエリアの整備方針の共有 ・整備にあたっての心配ごとや留意事項について
第2回	令和2年 12月	・計画づくりの進め方や成果目標のイメージについて ・交通機能の配置について
第3回	令和3年 3月	・仕様書の作成に向けて ・人と車の流れを演出する空間づくりについて
第4回	令和3年 5月	・デザインコンペの仕様書に盛り込む内容について (特に交流機能や商業機能について)
第5回	令和3年 7月	・デザインコンペの仕様書に盛り込む内容について (特に暮らしと景観について) ・ターミナルエリア整備の検討範囲について
第6回	令和3年 8月	・デザインコンペの仕様(案)について デザインコンペの条件(仕様)の決定 (盛り込むべき空間機能の配置・規模や留意事項)

次回(8月6日・7日)の予定

仕様書の案について意見交換

アンケートにご協力ください